

第3章 神奈川県農業【問10～問12】

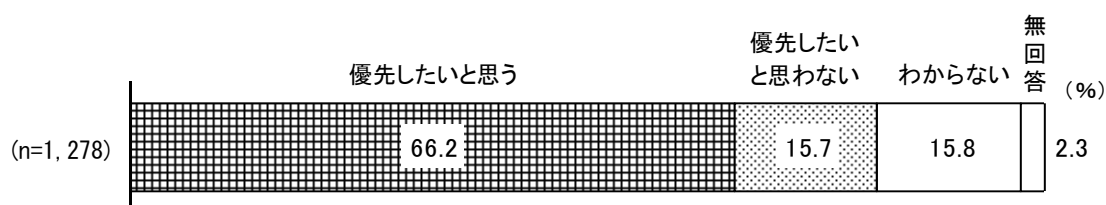
1 地元産の農産物の購入意向【問10】

【全体の状況】

農産物を購入する際に、地元産のものを優先したいと思うか尋ねたところ、「優先したいと思う」(66.2%)が6割台となった。

一方、「優先したいと思わない」(15.7%)は1割台であった。(図表3-1-1)

図表3-1-1 地元産の農産物の購入意向



【地域別の状況】

地域別にみると、「優先したいと思う」は、県西(77.8%)が7割台で最も多く、次いで湘南(74.7%)が多かった。また、「優先したいと思わない」は、川崎(23.5%)が2割台で最も多かった。

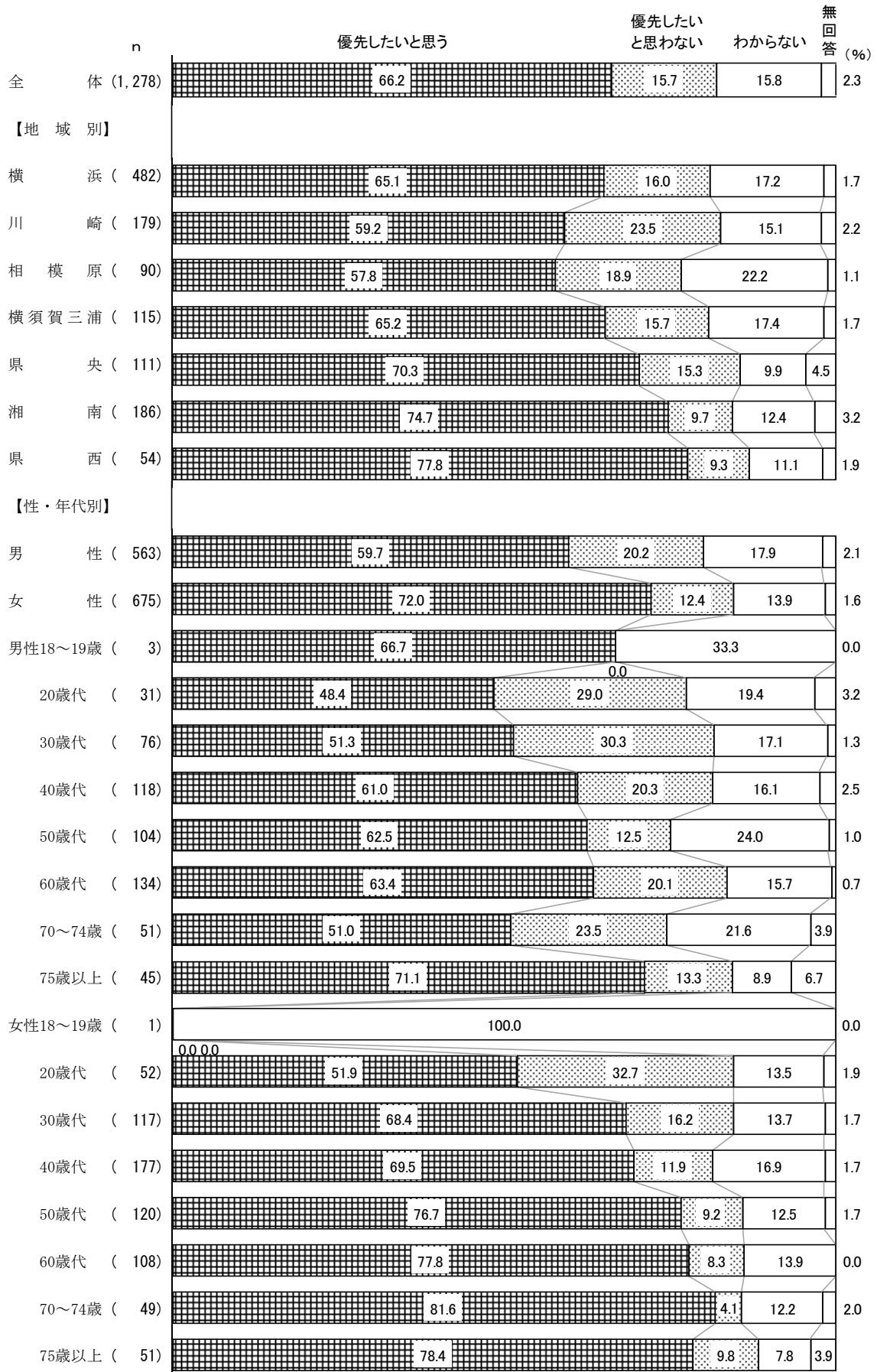
(図表3-1-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、「優先したいと思う」は、女性(72.0%)が男性(59.7%)を12.3ポイント上回った。

性・年代別にみると、「優先したいと思う」は、女性の70～74歳(81.6%)が約8割で最も多く、次いで女性の75歳以上(78.4%)が多かった。また、「優先したいと思わない」は、女性の20歳代(32.7%)が3割台で最も多く、男性の30歳代(30.3%)と男性の20歳代(29.0%)が続いた。(図表3-1-2)

図表3-1-2 地元産の農産物の購入意向—地域別、性・年代別

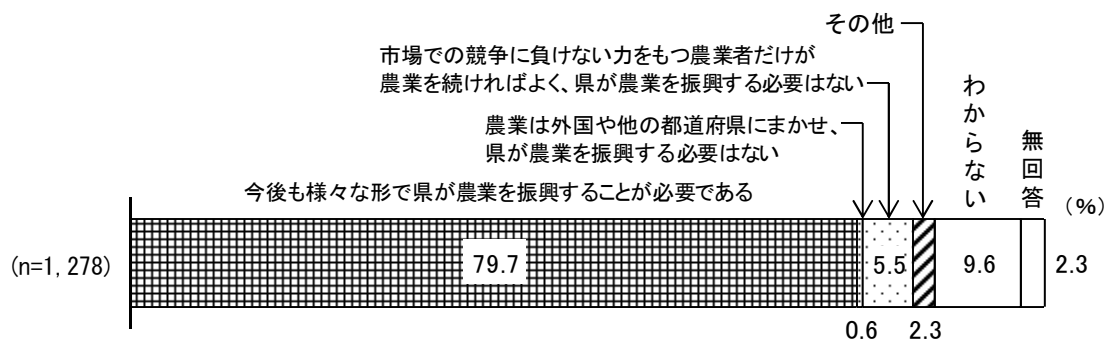


2 将来の神奈川県農業に対する考え【問11】

【全体の状況】

将来の神奈川県農業をどのようにしたらよいと思うか尋ねたところ、「今後も様々な形で県が農業を振興することが必要である」(79.7%)が8割で最も多かった。(図表3-2-1)

図表3-2-1 将来の神奈川県農業に対する考え



【地域別の状況】

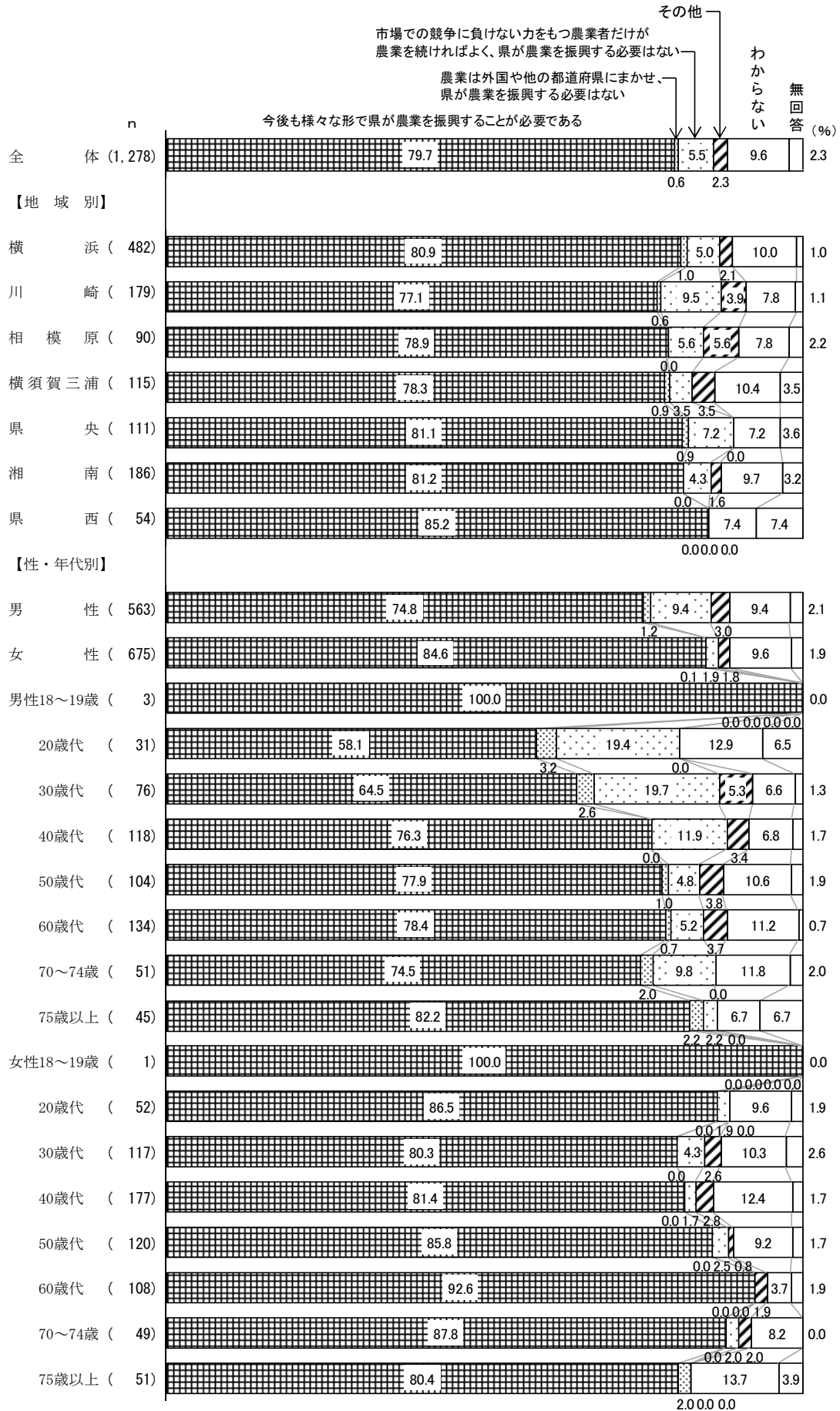
地域別にみると、「今後も様々な形で県が農業を振興することが必要である」は、県西(85.2%)が8割台で最も多く、湘南(81.2%)、県央(81.1%)、横浜(80.9%)が続いた。(図表3-2-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、「今後も様々な形で県が農業を振興することが必要である」は、女性(84.6%)が男性(74.8%)を9.8ポイント上回った。また、「市場での競争に負けない力をもつ農業者だけが農業を続けられればよく、県が農業を振興する必要はない」は、男性(9.4%)が女性(1.9%)を7.5ポイント上回った。

性・年代別にみると、「今後も様々な形で県が農業を振興することが必要である」は、サンプル数の少ない男女の18~19歳を除くと、女性の60歳代(92.6%)が9割台で最も多く、次いで女性の70~74歳(87.8%)が多かった。また、「市場での競争に負けない力をもつ農業者だけが農業を続けられればよく、県が農業を振興する必要はない」は、男性の30歳代(19.7%)が2割で最も多く、次いで男性の20歳代(19.4%)が多かった。(図表3-2-2)

図表3-2-2 将来の神奈川県農業に対する考え—地域別、性・年代別

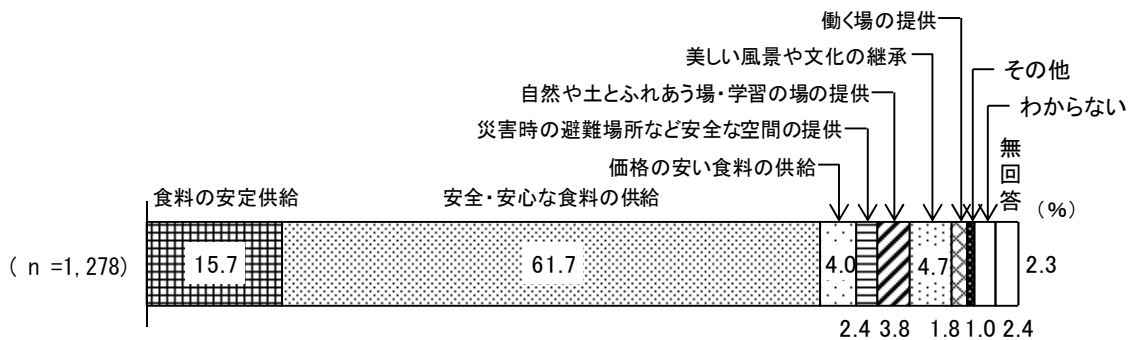


3 神奈川県農業に期待する役割【問12】

【全体の状況】

神奈川県農業にどのような役割を期待するか尋ねたところ、「安全・安心な食料の供給」(61.7%)が約6割で最も多く、次いで「食料の安定供給」(15.7%)が1割台であった。(図表3-3-1)

図表3-3-1 神奈川県農業に期待する役割



【地域別の状況】

地域別にみると、「安全・安心な食料の供給」は、県央(66.7%)が6割台で最も多く、次いで横須賀三浦(63.5%)が多かった。また、「食料の安定供給」は、相模原(24.4%)が2割台で最も多かった。(図表3-3-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、「安全・安心な食料の供給」は、女性(68.1%)が男性(54.5%)を13.6ポイント上回った。

性・年代別にみると、「安全・安心な食料の供給」は、女性の50歳代(76.7%)が7割台で最も多く、次いで女性の70~74歳(75.5%)が多かった。「食料の安定供給」は、サンプル数の少ない男女の18~19歳を除くと、男性の50歳代(20.2%)と60歳代(21.6%)がともに2割を超えた。

(図表3-3-2)

図表3-3-2 神奈川県農業に期待する役割—地域別、性・年代別

